

誕生おめでとう

2月16日～3月15日届出分(12人)

あかちやん 性別 保護者 誕生日 公民会

宮脇 晟也 男 貴志 2・6 町頭

内村 博斗 男 博直 2・9 轟原

堀之内 禅 男 成昭 2・11 轟原

上野 楓真 男 新司 2・17 ほとる

東條 駿翔 男 弘二朗 2・18 虎居大角

天瀬 瑛翔 男 進 2・22 西町

下牛尾 拓海 男 修 2・24 西手東

徳留 陸人 男 清文 2・24 尾原

得永 宗成 男 和秀 2・28 湯之元

福岡 比菜 女 和正 3・3 山崎上

牧田 俊洋 男 憲昌 3・4 西町

馬立 硫依翔 男 典幸 3・7 時吉高江

おくやみ申し上げます

2月16日～3月15日届出分(24人)

なくった人 年齢 届出人 公民会 死亡日

川添 照雄 75 川添サチ子 ほとる 2・16

宮永 光雄 86 宮永 節子 別野 2・16

指宿 鉄郎 80 指宿 敏郎 東町 2・18

櫛山 フサ 91 長濱 良博 上仲町 2・17

永徳 市郎 74 永徳ハツエ 二渡 2・18

斉藤 静夫 84 斉藤 シヅ 愛宕 2・18

米丸 君子 81 米丸登喜男 大願寺 2・19

岩崎 妙子 91 岩崎 秀二 櫃ヶ迫 2・19

田口 博通 83 緒方八重子 鶴宮園 2・21

玉利 フミ 96 玉利 秀隆 武 2・21

勝田シカノ 95 勝田 俊治 山崎中 2・25

築淵 優 69 築淵 正子 紫尾下 2・27

紺屋キリ子 74 紺屋榮太郎 下手 2・27

竹之中 淳 88 竹之中ノリ 木浜 2・28

西 シヅコ 96 西 博文 上川口 3・3

日置 和子 81 日置 敏朗 上寺下 3・5

山下 二カ 91 山下健太郎 一ツ木 3・6

中辻 芳子 86 下境田喜美子 下狩宿 3・6

竹下 道男 86 竹下 勲 久富木町 3・7

松木場光男 63 宮園 實則 北方町 3・8

下松休兵衛 91 宮脇 賢 船木西 3・9

八蕪 通 93 八蕪アツエ 箕野町 3・11

宮田 トミ 88 宮田 實徳 城之口 3・13

北原 トミ 88 北原 明義 虎居町 3・15

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

篤志寄付

町社会福祉協議会へ

- ・さつま町更生保護女性会
- ・紫尾区大衆浴場 上之原 純 夫
- ・いぬまきシルバー園芸教室

健康だより



◆こころの健康づくりシリーズ①

最近、時代を表現するキーワードとして様々な言葉が使われています。改革、IT革命、地方分権、グローバリゼーション(国際化)、女性、高齢者など、現在、我が国が置かれている現状を如実に示していると言っても良いでしょう。

私たちの身近な健康や暮らしに関しても、同様のキーワードが多くあります。少子高齢社会、女性の健康、介護保険、生活習慣病等はよく聞く言葉です。それらの表現とともに、あるいはそれら以上に現代社会を表す言葉として欠くことのできない重要なキーワードの一つとして、『こころの時代』というとらえ方があります。

社会が豊かになり、多様なモノや食べ物、お金が、ちまたに増え続ける一方、人間関係の希薄化やストレスの増加にともない、自らの手で命を絶つ人たちが3万人を超えています。自殺される方々の多くは経済的な理由や体調不良を訴える方々が多いとされており、漠然と経済的不況からの脱却が大切だとする人たちもいますが、むしろ現実的さらに重要なターゲットは自殺の誘因となるこころの問題であると指摘されています。まさに『こころの時代』と言う表現が、現代社会を表すキーワードの一つと言っていいでしょう。

◎地域でのこころのケアを進めるために

鹿児島県は東北・北海道といった北日本の地域に次いで、自殺者の多い地域ですが、北薩地域や本町においても実は自ら命を絶つ方々が多いとされています。その誘因となっているこころの問題に地域として、真摯に取り組んでいく必要があると考えています。

国も増加している自殺者数を減少させるために、国会での議論を踏まえ厚生労働省のみならず総務省などとも連携を図りながら、積極的に取り組みを進めています。このような国の動向を踏まえながら、川薩保健所と本町が協働で当面5か年間、重点的に地域におけるこころの健康づくりを積極的に進めていくことにしました。自殺者の現状、その誘因となるこころの問題とは何か、そのために地域の皆様に承知しておいて欲しい知識や考え、地域の皆様をお願いしたいことなど、今後このシリーズの中でお伝えしていきたいと思っています。地域のこころの健康づくりを進めるために。